

## 【概要】

# 住宅ローン利用者の実態調査

### 【住宅ローン利用者調査(2022年4月調査)】

## I 調査の概要

2021年10月～2022年3月に住宅ローン（フラット35を含む。）の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2022年4月28日～5月6日、回答数：1,500件

## II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

### 1 利用した金利タイプでは、「変動型」が増加し7割を超え、「固定期間選択型」と「全期間固定型」は減少 〈p. 2〉

- ・「変動型」：73.9%（2021年10月調査<sup>(※)</sup> 67.4%）
- ・「固定期間選択型」：17.3%（同 21.7%）
- ・「全期間固定型」：8.9%（同 10.9%）

### 2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて、「現状よりも上昇する」が増加し、「ほとんど変わらない」は減少 〈p. 10〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて（全体）〉

- ・「現状よりも上昇する」：39.2%（2021年10月調査<sup>(※)</sup> 23.1%）
- ・「ほとんど変わらない」：46.1%（同 63.1%）
- ・「現状よりも低下する」：4.1%（同 4.3%）
- ・「見当がつかない」：10.6%（同 9.5%）

### 3 住宅ローンを選んだ理由は、フラット35以外の住宅ローン利用者では「金利が低い」、フラット35利用者は「返済額を確定しておきたかった」が最多 〈p. 13、p. 14〉

〈住宅ローンを選んだ理由について〉

- ・フラット35以外の住宅ローン利用者：「金利が低い」が70.6%（2021年10月調査<sup>(※)</sup> 70.8%）で最多
- ・フラット35利用者：「返済額を確定しておきたかった」が44.7%（同 46.3%）で最多  
次いで「金利が低い」が31.8%（同 36.6%）

（※）2021年10月調査：2021年4月～9月に住宅ローン（フラット35を含む。）の借入れをされた方が対象